

## 第4部 近時のトピックス・時事問題

### 第1章 民主主義と選挙

#### 第1.（2021年の）注目すべき選挙

- ・自民党総裁選挙（9/29）
- ・ドイツ連邦議会選挙（総選挙）（9/26）・・・中道左派の社会民主党（SPD）が第1党に。メルケル首相率いるキリスト教民主・社会同盟（CDU・CSU）が第2党に。
- ・カナダ総選挙（9/20）・・・トルドー首相の自由党が第1党維持
- ・ロシア下院選挙（9/19）・・・プーチン政権の与党「統一ロシア」が単独で憲法改正の可能な3分の2以上の324議席を確保。共産党57議席、左派の公正ロシア27議席、極右の自由民主党21議席、中道右派の「新しい人々」は13議席
- ・香港政府トップの行政長官を選ぶ権限を持つ「選挙委員会（定数1500人）」の委員選挙（9/20）  
・・・改選対象の1448議席のうち親中派が1447議席を独占（民主党は1議席のみ）
- ・韓国大統領選挙（2022.3/9 予定）
- ・フランス大統領選挙（2022.4/10）

#### 第2. 米国大統領選挙

- (1) 2016年11月 共和党・トランプ（小さな政党）VS民主党・ヒラリー（大きな政党）  
ラストベルト（錆びれた工業地帯）が注目！
- (2) 2020年11月 トランプ再選ならず。バイデン（70歳）勝利  
cf. 映画『スイング・ステート』

#### 第3. 増殖する「選挙権威主義」、民主主義の衰退？・・・資料①

##### －スウェーデンの独立機関「V-Dem」の分類

- ① 自由民主主義（法の支配や三権分立）・・・日本、米国、欧州の主要国
- ② 選挙民主主義（①より少し不完全なもの）・・・ここ10年で、ハンガリー、トルコ、セルビア、インドが②から③の選挙権威主義に移行
- ③ 選挙権威主義（「民意」を当手段として自由な論争や競争、公正さを制度から奪っていき、権力維持に利用）・・・ロシア ※②と③の区別は微妙
- ④ 権威主義・・・中国

## 第2章 中国とどう向き合うの？

### 第1. 中国の土地問題・不動産問題

- (1) 先富論（鄧小平） → 共同富裕（習近平）
- (2) 中国、住宅高騰抑える策 不動産税 景気失速リスクも・・・資料②
- (3) 日本の土地バブルと中国との比較  
司馬遼太郎 風塵抄『日本に明日をつくるために』産経新聞1996年2月12日（逝去当日）  
「住専の問題がおこっている。日本国にもはや明日がないようなこの事態に、せめて公的資金でそれを始末するのは当然なことである」  
「その始末の痛みを通じて、土地を無用にさわるのがいかに悪であったかを（略）国民の一人一人

が感じねばならない。でなければ、日本国に明日はない」

- (4) 不動産バブル崩壊(?) 中国恒大集団の巨大債務(33兆円。日本の国会予算100兆円の1/3)
- (5) 一人っ子政策を大転換  
教育改革は? 躺平主義(寝そべり主義)とは? 高考(カオガオ)とは?

## 第2. 米中対決—習近平VSトランプ、バイデン

### (1) 軍事・外交

中国が核搭載可能な極超音速(ハイパーソニック)兵器の実験(2021年10月)・・・**資料③**

→ 1957年に旧ソ連が人工衛星を人類史上初めて打ち上げた「スプートニク・ショック」の衝撃

### (2) 経済成長は? 7~8パーセントのアップは無理。

## 第3. 中国共産党100年(1921年7月結党)・・・**資料④⑤**

習近平の独裁 ⇒ 共産党大会(2022年秋 第20回大会)で3期目総書記へ(2012年、2017年、2022年)

2021年11月の共産党第19期中央委員会第6回総会で、党創設以来の100年を総括する新たな「歴史決議」を採択する見通し(毛沢東、鄧小平に続き)

## 第4. 国家統制の強化

IT企業規制(アリババ)

マスコミ規制

ネットゲームは「アヘン」と中国紙が批判

## 第5. 香港の一国二制度は?

## 第6. 台湾(統一)は?

## 第3章 近時の日本の政治、政局、民主主義、選挙

- 1. 安倍晋三 最長政権 2012年12月26日~2020年9月16日
- 2. 菅義偉政権 2020年9月16日~2021年10月4日
- 3. 自民党総裁選挙(2021.9/29)
- 4. 第100代内閣総理大臣・岸田文雄選出(10/4)
- 5. 衆議院解散(10/14) → 総選挙(10/19告示、10/31投開票) 10月31日 投開票
- 6. 総選挙の結果にみる今後の日本の政治の展開は?・・・**資料⑥**

定数 465(過半数 233)

自民 276→261(-15) 単独で絶対安定多数 自民+公明(与党)で293

公明 29→32(+3)

日本維新 11→41(+30) 特に大阪は19のうち、維新15、公明4

大阪の比例復活 自民2人、立憲民主1人、共産1人、れいわ1人の合計5人

立憲民主 110→96(-14) 共産 12→10(-2) 国民 8→11(+3)

小選挙区制・比例代表制の怪(?), 野党共闘(特に立憲+共産)の是非・成否

立憲民主・枝野幸男代表 辞任(11/2) → 代表選挙へ

→ 11月10日の国会で第101代内閣総理大臣選出

## 第4章 石原慎太郎 2022年2月1日死去(1932年生まれ)

『太陽の季節』(1955年) 一橋大学在学中に2日間で執筆 → 第34回芥川賞

彼の問題提起とその功罪をどう考える

・・・**資料⑦**

c.f. 司馬遼太郎 1996年2月12死去